

生物暦 Vol.11

～いきものこよみ～

国立環境研究所 生物季節観測研究チーム 2025 年 5 月 27 日発行

1.ごあいさつ

調査員の皆様、いつも生物季節モニタリングにご協力いただきありがとうございます。5 月も終わり、今年もまた暑くなりそうな夏の気配を感じます。春の生き物の観測もそろそろ終わりのようです。

今年は、市民調査員の登録およびデータ公開に関する利用規約を施行しました。また、これまで観測報告はメールでのみの受付でしたが、ウェブフォームからの報告も開始いたしました。皆様が楽しく観測が続けられるように、そして生物季節モニタリングのデータを多くの方に活用していただけるように準備を進めています。あらためて皆様のご協力に感謝申し上げます。

2.これまでご報告いただいた観測データの内訳

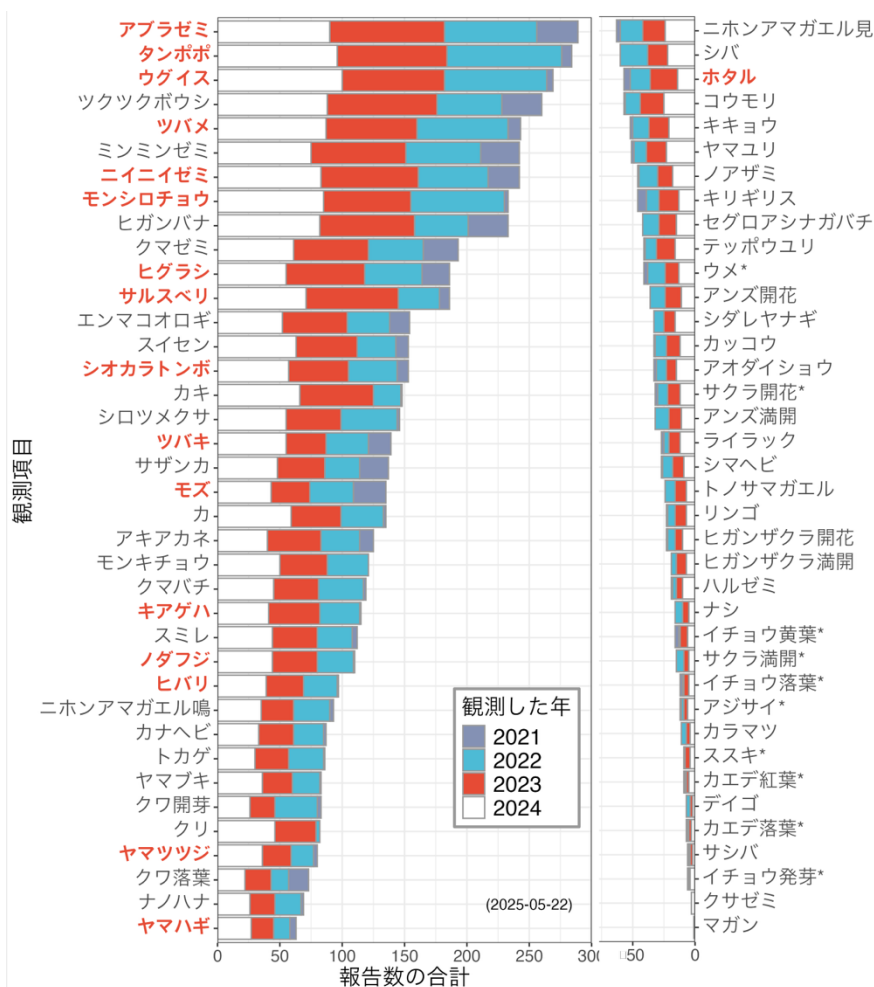
ついに観測報告数が 7,000 件を超えました。ありがとうございます！今回は 2021 年から 2024 年までの報告数をご紹介します。

グラフはモニタリング開始から今までの各観測項目の報告数を示したものです。赤い文字で記載した項目は重要種目、棒グラフの色は報告した年を示しています。また、*印のついた種目は気象庁が継続して観測している項目です。

観測報告数の最多は「アブラゼミの初鳴日」、2 位は「タンポポの開花日」、3 位は「ウグイスの初鳴日」となりました。観測報告数の上位 10 種の中に、セミが 5 種(アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ、ミンミンゼミ、クマゼミ)も入っています。動物

の観測数が多く、10 位以内にランクインした植物は「タンポポの開花日」と「ヒガンバナの開花日」の 2 つのみでした。

ちなみに、2024 年の報告数第 1 位は「ウグイスの初鳴日」100 件 (2023 年は 4 位 82 件)、2 位「タンポポの開花日」96 件 (2023 年は 2 位 88 件)、3 位「アブラゼミの初鳴日」90 件 (2023 年は 1 位 92 件) でした。



活動へのご意見・お問い合わせの窓口

E-mail: ccca_phenology@nies.go.jp

Tel: 0298-50-2375 担当：松島・西廣